

## 吸引について

### (目的)

肺にたまった痰や分泌物を自分の力で吐き出せないときに、人工的に機械を使い痰や分泌物を取り除き、肺の中をきれいに保ち、呼吸を楽にするために吸引を行います。

### カニューレから吸引する場合

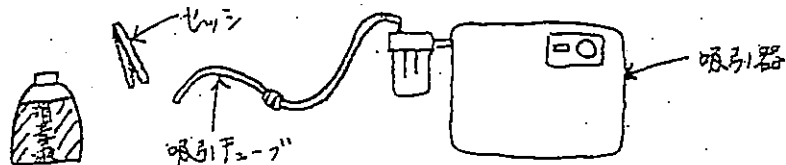
#### (用意するもの)

- 吸引用チューブ
- セッシ
- 吸引用蒸留水
- 吸引用蒸留水 (消毒液の入ったもの)
- 吸引器
- アルコール綿

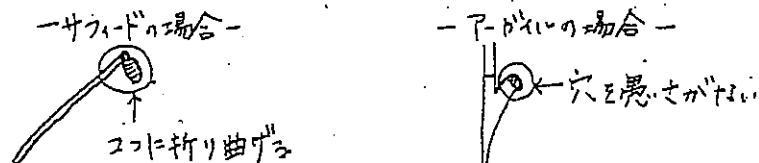
#### (方法)

1. あらかじめ、タッピング(場合によってはネブライザー)を行なっておく。
2. 消毒液から吸引チューブを取り出し、吸引器につなぐ。

\*注意：吸引チューブは清潔なものです。チューブのやわらかいところは手で触ってはいけません。必ずセッシを使いましょう。

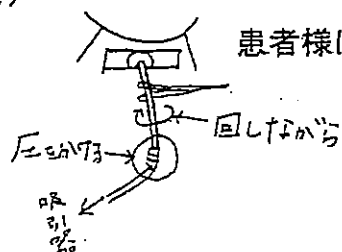


3. 吸引チューブを2つに折り曲げ(持つところの穴を患さがない)、圧をかけずにカニューレの中へ10cmほど入れる。



4. 圧をかけて、吸引チューブを回しながらカニューレから抜いていく。

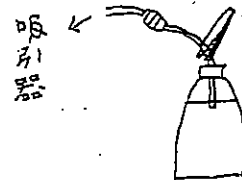
\*注意：どんなものが引けてくるか確認しましょう。(色・量・粘稠度など)



5. アルコール綿で吸引チューブの痰をふき取る。

\*注意：吸引チューブは清潔なものです。アルコール綿でふき取る際に、手でチューブを触らない様に気をつけましょう。

6. 蒸留水を吸って、吸引チューブ内の分泌物を流す。



7. 吸引チューブを消毒液につける。

\*注意：セッシも一緒に消毒液につけておきましょう。



8. 患者様の顔色などを必ず見る。

(こんなときは訪問看護に相談しましょう)

- 痰の色がいつもより黄色く、臭う。
- 痰の量がいつもより多く、熱がある。
- 食べ物が引けてくる。
- 吸引チューブが入りにくい。
- 痰が全然引けない。固い。

#### 口や鼻から吸引する場合

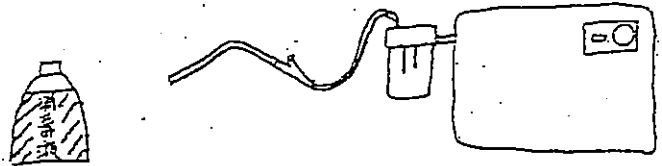
(用意するもの)

- 吸引用チューブ
- 吸引用蒸留水
- 吸引用蒸留水(消毒液の入ったもの)

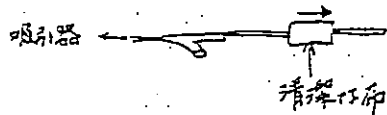
- 吸引器
- アルコール綿

(方法)

1. あらかじめ、タッピング（場合によっては、ネブライザー）を行なっておく。
2. 消毒液から吸引チューブを取り出し、吸引器につなぐ。



3. 吸引チューブの消毒液をアルコール綿でふき取る。

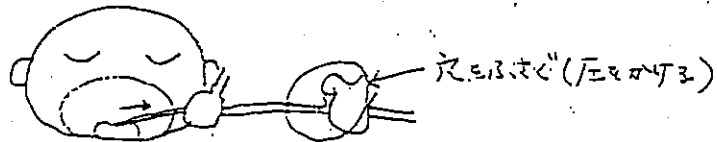


4. 吸引チューブを2つに折り曲げ（または、持つところの穴をふさがない）、圧をかけずに口または鼻の奥の方まで入れる。



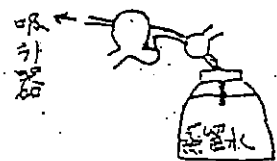
5. 圧をかけて、口や鼻にたまっている痰や分泌物を吸引していく。  
\*注意：どんなものが引けてくるか確認しましょう。（色・量・粘稠度など）

患者様は吸引中、とても苦しいものです。素早く行ないましょう。



6. 吸引チューブをアルコール綿でふき取る。

7. 蒸留水を吸って、吸引チューブ内の分泌物を流す。



8. 吸引チューブを消毒薬につける。



9. 患者様の顔色などを必ず見る。

(こんなときは訪問看護に相談しましょう)

- 痰の色がいつもより黄色く、臭う。
- 痰の量がいつもより多く、熱がある。
- ゴロゴロしているのに、痰が全然引けない。固い。

様 退院指導チェックリスト

受け持ち \_\_\_\_\_ 看護師

評価表: ◎→指導の必要がなくてできる  
 ○→見守っていればできる  
 △→指導しながら介助が必要  
 ×→すべて指導が必要

項目		月 日						
		/	/	/	/	/	/	/
処置	口腔吸引							
	気道吸引							
	気切部包交							
	カフ圧の確認							
	タッピング							
	体位交換							
	カニューレ交換							
運動	移動介助							
	リハビリ							
呼吸器	機器チェック							
	水交換							
	ジャバラ交換							

- ※ 指導日は、受け持ち看護師が介護者と相談して決める
- ※ 指導は、受け持ち看護師が中心となって計画する
- ※ 指導の順序は、介護者の技術習得状況によって調整する